

蕉門研究資料集成

全8巻 佐藤 勝明編・解説

俳諧研究に必要な「芭蕉」、
「蕪村」の研究資料に続き、
芭蕉の門人＝蕉門俳人の
研究書を復刻。



クレス出版

刊行にあたって

和洋女子大学教授

佐藤勝明

俳諧の研究において、芭蕉・蕪村・一茶といった巨峰のみを対象とするのではなく、広く諸俳人の動向や作品に目を配り、その実態を把握すべきであることは、改めていうまでもないことであろう。蕉風俳諧について考える場合も、芭蕉個人に関心が終始していたのでは十分な成果が得られるはずもなく、蕉門やその周囲の俳壇全体への視点をあわせもつことが必要となる。俳諧という文芸の本質を明らかにするためにも、また、芭蕉という存在の独自性と普遍性を見極めるためにも、蕉門研究・俳壇研究は大きな課題であるといえる。そして、そこでは、伝記的事実の解明と、作品そのものの正当な評価・位置づけと、そのいずれもが不可欠なことであるに違いない。

では、現在の研究状況はどうかというに、研究文献目録類を参看すれば、芭蕉関係の論文の盛況に比べ、他の蕉門俳人らに関心の中心にすえた研究の寥々たる

状況にあること、一目瞭然である。もちろん、芭蕉について書かれた論文には、他俳人や俳壇全体への視座がその根底に据えられているものも多く、その意味では、蕉門研究・俳壇研究を踏まえての芭蕉研究が行なわれつつあると、そういえるのかもしれない。それにしても、蕉門個々人の基礎的な研究にしても決して十分とはいえないのが現状であり、作品を論の中心に据えたものや注釈ともなれば、ほとんど手つかずといった人や書が少なくないのである。

温故知新。まずは、これまでの研究成果を知悉し、それをよく咀嚼した上で、研究の方向を探ることが必要であろう。昭和三十年代ころまでに刊行された、蕉門に関する基本的文献の若干を、ここに復刻する所以である。蕉門全体を広くカバーするというわけにはいかず、取捨選択の結果、研究対象にある種の偏りが生じたことは否めないものの、それも一つには、当時の研究動向の反映として理解していただければ幸いであり、作品研究が少ない結果となったのも、また同然である。その意味でも、これらの資料からは、基礎的事実や研究方法を教えられるばかりでなく、現在に至る研究の実態や、今後の課題・指針などまで示唆されることになるはずである。この集成一つの手がかりに、俳諧の研究がさらに活発なものとなることを、心から祈念いたしたい。

蕉門研究資料集成 全八巻構成

第一巻 芭蕉の門人 上 其角・嵐雪・去来・丈艸
市橋鐸著／大八洲出版／昭和二十二年

芭蕉の門人 下 許六・浪化・土芳・北枝
山崎喜好・大河寥々・菊山当年男・殿田良作者
大八洲出版／昭和二十三年

第二巻 芭蕉と門人
山崎喜好著／弘文社／昭和二十二年

芭蕉をめぐる人々
井本農一編／紫乃故郷舎／昭和二十八年

凡兆（井本農一）、路通（中村俊定）、越人（宮本三郎）、其角（神田秀夫）、許六（尾形仿）、等哉（杉浦正一郎）

第三巻 其角
栗山理一著／『風流論』子文書房／昭和十四年

俳人許六の研究
鈴木重雅著／俳書堂／昭和七年

第四巻 俳人惟然の研究
鈴木重雅著／俳書堂／昭和八年

第五巻 俳人丈艸
市橋鐸著／白帝書房／昭和五年

丈艸伝記考説
市橋鐸著／愛知県立女子大学国文学会／昭和三十九年

第六巻 史邦と魯九
市橋鐸著／俳諧史研究社／昭和十二年

『俳文学研究』抄
各務虎雄著／文学社／昭和十二年

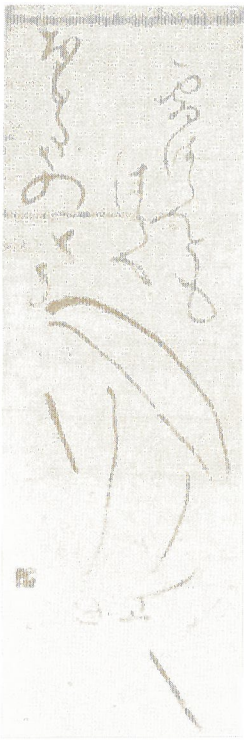
其角の俳風、去来の不易流行説 許六の家系、許六の俳論、支考系譜、支考の俳論

『大阪と蕉門』抄
西山隆二著／西山隆二遺稿集刊行会／昭和二十九年

大阪と蕉門、女流俳人

第七巻 其角研究 上 五言集輪講春夏之部
寒川鼠骨・林若樹編著／アルス／昭和二年

第八巻 五元集全解
岩本梓石著／俳書堂／昭和四年



惟然筆蹟（美濃国関町并慶庵蔵）

第四巻 俳人惟然の研究

あゝ芭蕉が、子供等と走りありかうとさへいふのである。惟然は、家ですてたが、彼は、冷灰枯木底の人となつたのではない。一切を放下して、却つて自由の天地を拓いたのである。捨てさりし娘に會うては、

兩袖にたゞなんとなくしぐれかな

恩情懇到、綿々として掬すべきものあるを見ずや。九夏三伏の候、抖擻の途に、故郷の天を望んでは、

故郷の空ながめやりて

あれ夏の雲 又雲のかさなれば

凄凉慘愴、惻々として人を動かすものがあると思ふ。而して、彼等のこの天地は、現實の社會よりいへば、貧と寂寥の世界である。芭蕉はいふ、友なきを友として貧しきをとめりとすと。（閑關説）惟然はいふ、

貧 饑

いにしへより富めるものは世のわざも多しとやらむ、老夫こゝの安櫻山に隠れて、食はず貧

第六巻 史邦と魯九

その一七 江戸時代の交友

史邦の江戸時代の交友として、よつくめだつのは嵐竹・山店の徒であつた。杉風ともそれ程でもなく、其角・嵐雪、さては炭俵の選者達となつて、影が淡い。これには何か原因がなくてはかなはぬ。

芭蕉といふ偉大な人物に率ゐられてゐる間はよかつたけれど、いざその人が歿になると、やはり纏りがつかなくなつて、京は京、江戸は江戸といふ様に、お互ひにゆく道が異つてくる、調和がとれなくなる。それがひどくなると個人と個人との間でもそれが激しくなる。史邦の様に甘んじて人の下風に立つことの嫌ひな男が獨立獨歩しなければならなくなるのも當然のことだつた。それに江戸へ来てまもなく芭蕉の死にあつた彼のこと故に、まだ地盤で出来てゐないつまり嵐竹・山店といつた様な二流どころと結びつかなければならなかつた史邦は不幸な男だつた。

この間の消息はさきに述べた小文庫の作者とその所載句數とを見ればよつくわかることゝ

百八のかねて迷や闇の梅

【鼠骨】 これは百八の煩惱といふ事があり、つもごりの夜に百八の鐘を打つ。その煩惱と鐘を持つて来て、煩惱即ち迷がかねてからある。百八の煩惱が醒めないものである。それは闇の中で梅を見るやうなもので、その句が慕はれて、その句に迷うて人が煩惱を起す事である。かねてから人には惑ひはあるが、闇の梅には殊更迷はされると云ふ位な意味だらうと思ひます。

【若樹】 百八の鐘は之を聞いて煩惱を晴らすものだ。今此鐘の音を聴いて未だ悟りと迄には行かぬが、闇中に梅の香の匂つて来るが如く、多少煩惱を晴らした感じがするといふのではないでせうか。

【鳴雪】 やはり言葉の上の巧みで、そこまで行かない方がいゝでせう。「かねて」で百八の煩惱にかけた所が、例の博識を誇る位のところぢやないかと思ふ。これが其角の自慢でそれ以上佛教的に解せぬ方がよからう。

【共古】 「かねて」を兼ねたと云ふのは餘り淺薄なやうだ。百八の鐘とかけて洒落ただけだらうか。

【虚子】 これはやはり除夜の句でせう。除夜でないといけなない。

【鳴雪】 昔の元日なら梅は咲いてゐるから差支へない。

第七巻 其角研究

蕉門研究資料集成 全八巻 佐藤勝明 編・解説

- 第一巻 芭蕉の門人 上、下
- 第二巻 芭蕉と門人、芭蕉をめぐる人々
- 第三巻 其角、俳人許六の研究
- 第四巻 俳人惟然の研究
- 第五巻 俳人丈艸、丈艸伝記考説
- 第六巻 史邦と魯九、『俳文学研究』抄、『大阪と蕉門』抄
- 第七巻 其角研究 上 五言集輪講春夏之部
- 第八巻 五元集全解

A 5判／上製函入／クロス装 平成16年9月末日刊行
揃定価99,750円(本体95,000円+税5%) ISBN4-87733-239-1(セット)

芭蕉研究資料集成 昭和前期篇 全19巻 久富哲雄 監修・解説

- 〈伝記・総記〉 1. 俳人芭蕉傳 2. 芭蕉全傳 3. 芭蕉の全貌 4. 芭蕉の傳記の研究、はせを 5. 俳人芭蕉の研究、奥の細道・芭蕉・蕪村 6. 俳聖芭蕉、芭蕉展望 7. 芭蕉翁雑考
- 〈俳論〉 1. 去來抄新講 上 2. 芭蕉と俳諧の精神、俳諧の國
- 〈作品研究〉 1. 七部集猿蓑評釋 2. 猿蓑俳句鑑賞、芭蕉名句評釋 3. 芭蕉七部集俳句鑑賞 4. 芭蕉句集新講 上 5. 芭蕉句集新講 下 6. 芭蕉紀行全集、奥の細道詳解 7. 奥の細道評釋 8. 『奥の細道』綜合研究 9. 奥の細道古註ほか 10. おくのほそ道の基礎研究

揃定価288,750円(本体275,000円+税5%) ISBN4-87733-009-7,010-0

蕪村研究資料集成 全17巻 久富哲雄・谷地快一 監修・解説

- 〈伝記・俳論〉 1. 與謝蕪村、俳人蕪村ほか 2. 聴蛙亭雑筆 3. 俳諧一家言蕪村その他、蕪村の新研究 4. 畫人蕪村、蕪村と其周圍
- 〈作品研究〉 1. 増訂蕪翁句集、校註蕪村全集 2. 蕪村遺稿、蕪村俳句評釋 3. 蕪村七部集俳句評釋 4. 標註蕪村俳句全集、續蕪村俳句標釋 5～8. 蕪村句集講義 蕪村遺稿講義 春・夏・秋・冬之部 9～12. 蕪村夢物語 春・夏・秋・冬之部 13. 校註解釋蕪村俳句全集、俳句講話古人を説くほか

揃定価195,300円(本体186,000円+税5%) ISBN4-906330-82-7,83-5

秋成研究資料集成 全12巻 近衛典子 監修・解説

- 1. 伝記論文集
- 2. 上田秋成の生涯
- 3. 雨月物語新釈
- 4. 校合雨月物語詳釈
- 5. 雨月物語詳解
- 6. 雨月物語・春雨物語
- 7. 雨月物語の研究
- 8. 春雨物語
- 9. 雨月物語精解
- 10. 上田秋成
- 11. 小説論文集
- 12. 和歌・俳諧・その他論文集

揃定価99,750円(本体95,000円+税5%) ISBN4-87733-170-0

西行研究資料集成 全10巻 西澤美仁 監修・解説

- 1. 増補山家集抄
- 2. 山家集詳解
- 3. 西行法師伝
- 4. 異本山家集 附録西行論
- 5. 類聚西行上人歌集新釈
- 6. 西行法師名歌評釈
- 7. 西行法師
- 8. 西行法師評伝
- 9. 西行・西行研究録・西行の伝と歌
- 10. 西行

揃定価98,700円(本体94,000円+税5%) ISBN4-87733-159-X



株式
会社

クレス出版

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メロ一ナ日本橋
☎03(3808)1821 FAX03(3808)1822 <http://www.kress-jp.com/>